

森(モリ)・盛(モリ)・オホーツク



No. 13 平成28年6月24日

林野庁 北海道森林管理局

常呂川森林ふれあい推進センター

第13回ボランティア育樹

楽しかった！

初体験!ノコ&散策

6月15日(水)、「第13回オホーツクの森ボランティア育樹」が端野小、常呂小の5年生を含め168名の参加で行われ、アカエゾマツ人工林の枝払いをしました。



これは、北見市、常呂漁協、オホーツクみどりネットワーク、森林ボランティア「オホーツクの会」、オホーツク森の案内友の会、日本森林林業振興会、北林会、国有林関係などで結成する実行委員会(実行委員長：中島紀男)の主催で行われたものです。

6月に入ってから天候不順の日が続き、空模様が心配されましたが、そんな心配もどこへやら…青空の下での実施となりました。

参加した小学生からは「初めてノコを使った。最初は難しかったけど教えてもらって切れるようになった。もっと切りたかった。」「太陽の光を受けることで草などが生え土砂崩れを防ぐことを知った。ゴミを捨てないなど自然を守るために身近なことからやりたい。」などの感想が寄せられました。



また、午後からは森林散策と山菜採取に分かれて、オホーツクの森を楽しみました。

森林散策に参加した20代女性(学生)からは、「ポスターを見て初めて参加、枝払いも森林散策も楽しかった。また、参加したい。」といううれしい言葉もありました。

森林の魅(味)力を感じよう！

山菜採取は 欲とのたたかい

6月5日(日)、「オホーツクの森」で山菜アドバイザー工藤森生(くどうもりお)氏を講師に【森林の魅(味)力を感じよう！】を実施しました。



これは、今年から祝日となる山の日(8月11日)の趣旨である「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する。」ことを目的に行われたもので北見市民を中心に30名が参加しました。

工藤氏からは『山菜採取は【欲】との闘いであり、独占欲(人には教えたくない)・物欲(たくさん採りたい)を捨てることが大事。恵みに感謝し根こそぎ取るのではなく、ゴミや泥が付かないよう丁寧に採ることで下処理も楽にできるし、翌年も採ることができる。また、毒草による食中毒に注意するためには知らないものは採らない、毒草が混ざらないよう丁寧にゆっくり採ること。』など、山菜採取のマナー、注意の話がありました。



その後、試食用の山菜を採取し、みそ汁(ヨブスマソウ、セリ、ミツバ)、和え物(ウド、ヨブスマソウ)などの調理、試食となり、「採ったばかりの山菜はアクも少なく調理も楽」「ヨブスマソウは初めて食べたけど食感がいい」「これなら家でも作れそう」などの声がありました。

午後からは、「オホーツクの森」で行われている自然再生活動、ボランティア活動の話聞き、フキ、ウド、ワラビなどを適量(?)採取し、オホーツクの森を後にしました。(特にワラビは低温の影響で適量確保に苦心しました)

北海道森林管理局 常呂川森林ふれあい推進センター

090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960 FAX 0157-26-2144

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/